日本の展望委員会 生命科学作業分科会（第2回）議事要旨

1. 日 時 平成20年11月6日（木）9：00～10：30
 2. 場 所 日本学術会議5階 5-A会議室（1）
 3. 出 欠
（出席11名）浅島、唐木、北島、榊、桐野、渡邊、山本（正）、橋田、
山内、谷口（直）、柴崎の各委員
（欠席9名） 鷺谷、山本（雅）、黒岩、真木、廣川、南、鶴尾、中村、
谷口（維）の各委員
3. 議 事
- (1) 前回分科会の議事要旨について
第1回生命科学作業分科会の議事要旨については配布された原案通り承認された。
 - (2) 副委員長、幹事の選出について
浅島委員長より、副委員長として北島会員、幹事として鷺谷会員および山本（正）会員を選出したい旨が諮られ、提案通り承認された。
 - (3) 各分野別委員会への意見提出依頼について
浅島委員長より配布資料「分野別委員会における審議について」および「日本の展望委員会 生命科学作業分科会に関連する意思の表出（第20期～18期）」の説明があった後、欠席の鷺谷委員からの書面による意見も参考にして、標記の依頼の具体化につき議論を行った。確認された要点は以下の通りである。
 - ◎ 分野別委員会での審議の目標は、(1) 各分野の中期的な（10-20年程度）学術的な課題と展望をまとめること（その際短期的な課題と展望についても言及）および(2) 固有の問題に加えて以下の3点に留意することである。
 - ① グローバル化への対応（情報化への対応を含む）
 - ② 社会のニーズへの対応
 - ③ これからの人材育成
 - ◎ 審議のスケジュールとしては、2009年2月14日までに、各分野別委員会から生命科学作業分科会に対して審議の要点をA4版1～2枚にまとめたものを提出する。また同年8月末の親委員会（日本の展望委員会）への提出を目指してA4版20枚程度の分野委員会報告を作成する。要点のまとめを早めたのは、第二部の意見が、来年4月の総会を経て第4期科学技術基本計画に取り込まれることを可能にするためである。
 - ◎ 以上については本日欠席の分野別委員会委員長にも内容を伝達し、生命科学9分野の取りまとめに遺漏が生じないよう依頼する。
 - (4) その他
各分野別委員会からの報告を受けとってすぐの2009年2月後半に次回を、3月に次々回を開いて、生命科学作業分科会として「日本の展望-学術からの提言」に盛り込むべき事項につき提案をとりまとめることとした。そのため、早急に各委員の都合を伺って日程調整をする。